



2024年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月9日

上場会社名 株式会社 THEグローバル社
コード番号 3271 URL <https://www.the-g.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-3345-6111

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第2四半期の連結業績(2023年7月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第2四半期	16,892	23.0	1,489	200.5	1,216	467.3	910	485.7
2023年6月期第2四半期	13,737	13.8	495	7.5	214	30.1	155	1.1

(注) 包括利益 2024年6月期第2四半期 912百万円 (507.4%) 2023年6月期第2四半期 150百万円 (33.6%)

1株当たり四半期純利益	
	円 銭
2024年6月期第2四半期	32.17
2023年6月期第2四半期	5.49

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年6月期第2四半期	42,780	6,205	14.5	219.22
2023年6月期	33,243	5,292	15.9	186.96

(参考) 自己資本 2024年6月期第2四半期 6,205百万円 2023年6月期 5,292百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期		0.00		0.00	0.00
2024年6月期		0.00			
2024年6月期(予想)				18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年6月期の連結業績予想(2023年7月1日～2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,769	3.8	3,386	53.5	2,501	59.7	2,002	14.6	70.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) 合同会社京橋釣鐘を営業者とする匿名組合、 除外 2 社 (社名) 株式会社グローバル・エルシード
株式会社グローバル・キャスト

株式会社グローバル・エルシード及び株式会社グローバル・キャストは、2023年10月1日付で当社を存続会社とする吸収合併により消滅しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年6月期2Q	28,306,000 株	2023年6月期	28,306,000 株
期末自己株式数	2024年6月期2Q	76 株	2023年6月期	76 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年6月期2Q	28,305,924 株	2023年6月期2Q	28,305,924 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年7月1日～2023年12月31日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類への引下げを背景に、一段と進んだ社会活動の正常化をはじめ、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果、インバウンド需要の持ち直し等により緩やかな回復傾向にあります。一方で、世界的な金融引締めや中国経済の動向、緊迫化する中東地域をめぐる情勢等による国内景気への影響が懸念されており、依然先行き動向に注視していく必要があります。

当社グループが属する不動産業界におきましては、2023年の首都圏新築分譲マンション市場は、供給戸数が2万6,886戸と前年(2万9,569戸)より減少したものの、平均価格は8,101万円と5年連続、平米単価は122.6万円と11年連続の上昇となり、価格・平米単価ともに過去最高値を更新しており、契約率も堅調に推移しております(不動産経済研究所資料参照)。不動産投資市場は、2023年4月～12月における国内の不動産投資額は前年同期比の約40%増を記録し、円安と低金利を背景に好調に推移しております。

このような状況下当社グループでは、所有物件の開発・売却に努め、分譲マンション2物件と収益物件7物件の売却引渡を行いました。また首都圏を中心とした分譲及び収益物件用地の仕入れ強化を図っております。

ホテル業界におきましては、国内需要も活発に推移しており、訪日外国人観光客数においても10月には2019年の同月比を上回り回復しております。宿泊施設の稼働も順調に推移しております(観光庁調べ)。当社グループにおきましても、営業再開しております施設の稼働も回復傾向で推移しております。また、京都ホテル案件2物件を売却しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高16,892百万円(前年同四半期比23.0%増)、営業利益1,489百万円(前年同四半期比200.5%増)、経常利益1,216百万円(前年同四半期比467.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益910百万円(前年同四半期比485.7%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は、以下のとおりであります。

[分譲マンション事業]

分譲マンション事業におきましては、「ウィルローズ府中宮町」、「ウィルローズ横浜鶴見」等合計109戸の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高5,886百万円(前年同四半期は売上高一百万円)、営業利益823百万円(前年同四半期は営業損失112百万円)となりました。

[収益物件事業]

収益物件事業におきましては、「八丁堀Ⅲプロジェクト」、「大森プロジェクト」、「亀有プロジェクト」等、7物件の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高8,712百万円(前年同四半期比1.7%増)、営業利益835百万円(前年同四半期比42.9%減)となりました。

[販売代理事業]

販売代理事業におきましては、グループ会社開発及び他社開発物件の販売代理を行い、地域別の引渡実績は、東京都区部28物件43戸、東京都下6物件65戸、神奈川県4物件53戸、埼玉県3物件5戸、千葉県2物件2戸、合計43物件168戸となりました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高502百万円(前年同四半期比37.7%増)、営業利益250百万円(前年同四半期比92.8%増)となりました。

[建物管理事業]

建物管理事業におきましては、2023年12月31日現在のマンション管理戸数が3,932戸となります。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高245百万円(前年同四半期比3.9%増)、営業利益30百万円(前年同四半期比36.2%増)となりました。

[ホテル事業]

ホテル事業におきましては、京都におけるホテル運営及び京都プロジェクト2物件の引渡しなどを行いました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高1,944百万円(前年同四半期比57.1%減)、営業利益360百万円(前年同四半期は営業損失496百万円)となりました。

[その他]

その他としましては、不動産賃貸事業等による収入であります。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高4百万円(前年同四半期比88.3%減)、営業利益2百万円(前年同四半期は営業損失1百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ9,536百万円増加し42,780百万円となりました。負債については前連結会計年度末から8,623百万円増加し36,575百万円となりました。また、純資産については前連結会計年度末から912百万円増加し6,205百万円となりました。前連結会計年度末からの主な変動要因は以下のとおりであります。

資産の主な変動要因については、物件の仕入により仕掛販売用不動産が13,635百万円増加、物件の引渡により販売用不動産が2,116百万円減少したことによるものであります。

負債の主な変動要因については、有利子負債が9,823百万円増加したことによるものであります。

また、純資産の主な変動要因としては、利益剰余金が910百万円増加したことによるものであります。

<キャッシュ・フローの状況>

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ2,072百万円減少し2,616百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益1,216百万円、棚卸資産の増加額11,524百万円、未払消費税の減少額648百万円を主要因として、11,396百万円の支出(前年同四半期は1,732百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得による支出440百万円を主要因として、443百万円の支出(前年同四半期は139百万円の収入)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増額4,781百万円、長期借入れによる収入8,749百万円、長期借入金の返済による支出3,702百万円を主要因として、9,766百万円の収入(前年同四半期は992百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年8月10日に公表しました通期予想と変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,743,919	2,670,596
売掛金	62,394	50,896
販売用不動産	2,461,460	345,138
仕掛販売用不動産	23,636,398	37,272,138
前払費用	862,891	784,555
その他	467,693	366,661
流動資産合計	32,234,758	41,489,986
固定資産		
有形固定資産	59,382	73,248
無形固定資産	8,583	7,138
投資その他の資産		
投資有価証券	304,557	744,987
長期貸付金	326,048	354,902
繰延税金資産	194,185	26,358
その他	485,002	480,584
貸倒引当金	△368,937	△396,816
投資その他の資産合計	940,856	1,210,016
固定資産合計	1,008,822	1,290,403
資産合計	33,243,581	42,780,390
負債の部		
流動負債		
買掛金	712,848	317,694
短期借入金	10,946,000	15,726,713
1年内返済予定の長期借入金	8,574,159	11,461,744
1年内償還予定の社債	100,000	70,000
未払金	566,271	870,126
未払法人税等	36,051	136,501
未払消費税等	757,239	109,053
前受金	1,033,450	590,540
賞与引当金	9,711	9,882
その他	240,914	153,296
流動負債合計	22,976,645	29,445,550
固定負債		
社債	1,740,000	1,720,000
長期借入金	3,164,319	5,384,017
繰延税金負債	5,966	—
その他	64,459	25,632
固定負債合計	4,974,744	7,129,649
負債合計	27,951,389	36,575,200

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,924,376	1,924,376
資本剰余金	2,870,605	2,870,605
利益剰余金	647,098	1,557,675
自己株式	△33	△33
株主資本合計	5,442,046	6,352,623
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	657	1,087
為替換算調整勘定	△150,511	△148,520
その他の包括利益累計額合計	△149,854	△147,433
純資産合計	5,292,191	6,205,190
負債純資産合計	33,243,581	42,780,390

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
売上高	13,737,190	16,892,742
売上原価	11,488,221	13,499,375
売上総利益	2,248,969	3,393,366
販売費及び一般管理費	1,753,250	1,903,656
営業利益	495,718	1,489,710
営業外収益		
受取利息	2,160	53
受取手数料	4,160	11,006
解約精算金	4,119	2,000
受取地代家賃	7,716	32,832
貸倒引当金戻入額	54,414	900
雇用調整助成金	1,495	—
その他	17,289	4,456
営業外収益合計	91,357	51,248
営業外費用		
支払利息	320,752	259,073
支払手数料	51,265	60,718
その他	648	4,912
営業外費用合計	372,665	324,704
経常利益	214,409	1,216,253
特別利益		
受取保険金	80,539	—
特別利益合計	80,539	—
特別損失		
固定資産除売却損	576	0
役員退職慰労金	100,000	—
特別損失合計	100,576	0
税金等調整前四半期純利益	194,372	1,216,253
法人税、住民税及び事業税	26,668	143,816
法人税等調整額	12,235	161,860
法人税等合計	38,903	305,676
四半期純利益	155,468	910,577
親会社株主に帰属する四半期純利益	155,468	910,577

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	155,468	910,577
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	174	430
為替換算調整勘定	△5,338	1,991
その他の包括利益合計	△5,164	2,421
四半期包括利益	150,304	912,998
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	150,304	912,998

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	194,372	1,216,253
減価償却費	20,558	16,245
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△971	171
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△196,692	△975
受取利息及び受取配当金	△2,160	△53
雇用調整助成金	△1,495	—
為替差損益 (△は益)	△7,235	354
支払利息	320,752	259,073
有形固定資産除売却損益 (△は益)	576	0
受取保険金	△80,539	—
役員退職慰労金	100,000	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△9,320	11,498
棚卸資産の増減額 (△は増加)	2,087,481	△11,524,381
前払費用の増減額 (△は増加)	△349,122	73,791
長期前払費用の増減額 (△は増加)	1,296	△8,654
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△34,451	△261,160
仕入債務の増減額 (△は減少)	123,250	△395,280
未払金の増減額 (△は減少)	△10,244	323,654
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△32,170	△648,185
未払費用の増減額 (△は減少)	△105,850	△52,523
前受金の増減額 (△は減少)	258,760	△442,910
預り金の増減額 (△は減少)	3,778	△5,306
その他	23,934	251,796
小計	2,304,506	△11,186,591
利息及び配当金の受取額	6,783	88
利息の支払額	△454,064	△272,154
法人税等の還付額	—	16,981
雇用調整助成金の受取額	1,495	—
消費税の還付額	38,754	106,095
法人税等の支払額	△64,526	△60,559
役員退職慰労金の支払額	△100,000	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,732,947	△11,396,139

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	1,200	9,502
定期預金の預入による支出	△5,900	△9,000
債権譲渡による収入	70,000	—
有形固定資産の取得による支出	—	△22,790
無形固定資産の取得による支出	△1,000	—
差入保証金の回収による収入	2,096	39,254
差入保証金の差入による支出	△25,635	△19,336
保険積立金の積立による支出	△1,704	△1,506
保険積立金の払戻による収入	100,008	—
出資金の回収による収入	370	200
出資金の払込による支出	—	△5
投資有価証券の取得による支出	—	△440,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	139,434	△443,681
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	10,515,354	4,781,240
長期借入れによる収入	1,216,734	8,749,381
長期借入金の返済による支出	△12,358,129	△3,702,817
社債の償還による支出	△350,000	△50,000
リース債務の返済による支出	△16,618	△10,885
財務活動によるキャッシュ・フロー	△992,658	9,766,919
現金及び現金同等物に係る換算差額	△481	80
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	879,241	△2,072,820
現金及び現金同等物の期首残高	1,931,350	4,689,417
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,810,592	2,616,596

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント					
	分譲マンション事業	収益物件事業	販売代理事業	建物管理事業	ホテル事業	計
売上高						
一時点で移転される財及びサービス	—	8,451,968	364,504	—	4,524,628	13,341,101
一定の期間にわたり移転される財及びサービス	—	47,176	—	235,755	—	282,931
顧客との契約から生じる収益	—	8,499,144	364,504	235,755	4,524,628	13,624,032
その他の収益	—	66,883	—	—	6,160	73,043
外部顧客への売上高	—	8,566,027	364,504	235,755	4,530,788	13,697,076
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	—	8,566,027	364,504	235,755	4,530,788	13,697,076
セグメント利益又は損失(△)	△112,248	1,462,578	130,057	22,506	△496,654	1,006,238

(単位：千円)

	その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高				
一時点で移転される財及びサービス	2,902	13,344,004	—	13,344,004
一定の期間にわたり移転される財及びサービス	—	282,931	—	282,931
顧客との契約から生じる収益	2,902	13,626,935	—	13,626,935
その他の収益	37,211	110,255	—	110,255
外部顧客への売上高	40,114	13,737,190	—	13,737,190
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	40,114	13,737,190	—	13,737,190
セグメント利益又は損失(△)	△1,378	1,004,860	△509,141	495,718

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△509,141千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△509,141千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント					
	分譲マンション事業	収益物件事業	販売代理事業	建物管理事業	ホテル事業	計
売上高						
一時点で移転される財及びサービス	5,886,424	3,730,559	502,069	—	1,937,031	12,056,086
一定の期間にわたり移転される財及びサービス	—	35,856	—	245,047	—	280,904
顧客との契約から生じる収益	5,886,424	3,766,416	502,069	245,047	1,937,031	12,336,990
その他の収益	—	4,946,084	—	—	7,579	4,953,663
外部顧客への売上高	5,886,424	8,712,501	99,446	245,047	1,944,610	16,888,031
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	402,623	—	—	402,623
計	5,886,424	8,712,501	502,069	245,047	1,944,610	17,290,654
セグメント利益	823,447	835,689	250,754	30,660	360,586	2,301,138

(単位：千円)

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
一時点で移転される財及びサービス	4,710	12,060,797	△402,623	11,658,174
一定の期間にわたり移転される財及びサービス	—	280,904	—	280,904
顧客との契約から生じる収益	4,710	12,341,701	△402,623	11,939,078
その他の収益	—	4,953,663	—	4,953,663
外部顧客への売上高	4,710	16,892,742	—	16,892,742
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	402,623	△402,623	—
計	4,710	17,295,365	△402,623	16,892,742
セグメント利益	2,267	2,303,406	△813,696	1,489,710

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△813,696千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△411,073千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 「その他の収益」には、「リース取引に関する会計基準(企業会計基準第13号 2007年3月30日)」に基づく賃貸収入及び「特別目的会社を利用した不動産の流動化に係る譲渡人の会計処理に関する実務指針(会計制度員会報告第15号 2014年11月4日)」に基づく不動産(不動産信託受益権を含む)の売却収入等が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。